

# 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大阪市立巽小

学校

児童数

57人

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	19.08	18.15	31.00	40.24	37.56	9.55	148.65	22.46	51.08
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	19.83	17.96	37.96	38.35	32.91	9.82	138.00	16.67	55.05
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

### 結果の概要

学校課題として長座体前屈に焦点を当てていたが、平均で見ると少し下回る結果である。度数分布をみると高い記録者が少ない反面、低い記録者も少なかった。体力合計点では、男子が大阪市や全国を少し下回り、女子は大きく上回る結果である。項目別では、握力や女子のソフトボール投げが抜けて上回る反面、20mシャトルランが下回る。質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答割合は、男子が大阪市や全国を大幅に超え、女子は同程度に好んでいる。また、1週間の総運動時間の回答割合は、男女ともに大阪市や全国を超えて運動している。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

学校課題として長座体前屈は、苦手とする児童の柔軟性を上げたともいえるが、全児童の柔軟性を今後もあげられるように取り組む。柔軟性は、ケガなどの安全性にもつながると考える。また、昨年度の課題であるソフトボール投げが伸びており喜ばしいことである。運動量が多い反面、全国や大阪市の平均記録を下回る結果を受け、腹筋や持久力、跳躍力などが注目される。あまり使わない運動があったり、偏った運動になったりしているのかもしれない。今後の課題としては、各種強調週間(なわとび・かけあし)を継続実施していくとともに、日々の体育指導の在り方を見直し、改善へとつなげていきたい。また、出前授業など専門的な講師の方を招くなど、体育指導を行う教諭を中心に体育科指導の向上を目指したい。